

後援会だより

第10号 2010. 9. 1

編集発行／鹿児島大学法文学部後援会

本誌の案内

○後援会会長ごあいさつ	1	○就職状況	3
○後援会顧問(法文学部長)ごあいさつ	2	○平成21年度決算・平成22年度予算	4
○平成22年度後援会総会	2	○平成22年度後援会役員一覧	4
○後援会支援事業(平成22年度法文学部就活セミナー)	2		

後援会会長ごあいさつ

鹿児島大学法文学部後援会
会長 小原 幸三

会員の皆様には、ご健勝のことと拝察申し上げます。日頃より後援会の活動につきましては、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。



このたび、新しく後援会会長に就任させていただくことになりました。微力ではございますが、保護者代表として、学生のよりよい環境づくりに尽力していく所存でございますので、皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

国政につきましては、新たな時代を期待して改革的な政権交代が起こり、はや一年が経過しようとしています。ここ数年の、日本のトップの入れ替わりの激しさは、社会が求める変化と政治体制の変化の不調和を示しています。同様の組織体制の老朽化あるいは、変化に対応できない事情は私たちの周りに、あるいは、自分自身の中にもあると思います。このような状況で、次世代を担う若者に、伝えるべきモノを如何に整理して伝えるかは、多くの議論を行いながら、確かめて行くしかないのではないのでしょうか。

明治維新のような大きな世界的な課題が見えつつある時代に、我々の郷土の先輩が果たした役割を学ぶことも、新たな未知の模索に有効だと思います。学ぶべきものは、過去の人類資産にしかありません。新しいものは、古いものの中から生まれることを多くの先達が示しています。今一度、歩みを止

めて、一緒に考えてみませんか。大切なことは、明日のために学ぶのではなく、その先にある目標のために学ぶのです。具体的に見えなければ、「あなたの将来の家族のために学ぶ」という具体化はいかがですか。まだ見ぬ伴侶、子供、孫を想像して行動することは、自分の行動規範を安定にし、正しい方向に導いていくでしょう。確信を持つまで探求する。この信念を大学で獲得して欲しいと願っています。

このような中、7月に開催されました第8回後援会総会では、学生の就職環境充実に重点をおいた平成22年度後援会事業計画をご承認いただきました。今年度から新しく実施いたします「就職ガイダンス参加学生の交通費一部支援事業」や「就職セミナー講演支援事業」など、学生だけでなく我々保護者にとっても関心が強い就職に対する支援を拡充し、また、学生の教育研究活動、福利厚生及び新入生オリエンテーションの充実に対しても、更にきめ細やかな支援を行っていきたいと考えております。

目まぐるしく変化する時代の中、相変わらず厳しい就職環境が続きますが、次世代を担う学生の皆さんが、自らの行動の結果として様々な新しい「芽」を携えて立派に社会へ羽ばたき、強く生きていかれることを願いつつ、当後援会として応援したいと思います。

今後とも後援会活動への皆様の一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



後援会顧問(法文学部長)ごあいさつ

法文学部長 石川 英昭

鹿児島大学も、国立大学法人化後7年目、第Ⅱ期中期目標期間の初年度に入りました。第Ⅰ期中期目標期間におきましては、お陰さまで法文学部・各研究科は、多くの事業を展開でき、この間の教育研究に対する評価も鹿児島大学の中では高い方でした。昨年度までの事業に関しましては、後援会ホームページの中の「後援会だより」を開いていただければ、その内容を知ることが出来ます。

さらに、法文学部棟は、この3月に改修も終わり、その建物は見違えるように明るくなり、施設も充実しました。また、この4月からを見ましても、交換留学制度を利用して外国の大学に留学する学生への支援を始めましたし、韓国の木浦大学校、フランスのレンヌ大学との学術交流も始まりました。さらには、奄美市に島嶼研究のフィールド教室を設ける為、宿舎等の支援を得る約束を奄美市と結ぶことも出来ました。これ等のことは、後援会会員の皆様のご支援の賜だと思っています。後援会会員の皆様には心より御礼申し上げます。

過去の「後援会だより」の中で、幾度も触れられていますのが、保護者と教員との交流、及び学部等の情報の提供です。

前者としましては、入学時の歓談会、7月の総会・懇談会がありますが、理事の方は更に数回の理事会に出席されます。それ等の会合は保護者の方にはご負担でもありまじょうが、しかしまたご自身の意見を教員に直接身近に伝える好機でもあります。保護者の方は後援会の主役ですので、皆様には積極的にそのような会に参加され、また理事にもなっていたいだきたいと思っています。

後者の学部等の情報提供については、この「後援会だより」が年2回発行されていますし、ホームページも設けています。これらの内容は、更に充実させ、皆様のご期待に副えるものにしてゆきたいと考えています。これと共に、お子様についての情報提供のご期待も高いようです。しかし、学部等が出すお子様の情報は、保護者の皆様にとっては、あくまで二次情報、間接情報ですから、これには先ずは、お子様との直接対話を基本にして頂きたいと思ひます。総会・懇談会等に参加され、そこでの話題をお子様と



の対話のきっかけにさせていただくことも希望します。

この7月にも例年の通り後援会総会及び懇談会が開催され、多くの会員の皆様にご参加いただきました。その際にもお話申し上げましたが、法人化後の大学は、毎年予算の大幅削減に直面してきましたが、今後はさらに一層の削減が見込まれる状況になっております。本学部・各研究科が新たな事業を展開し、学生・院生に満足を与えることのできる教育研究を提供してゆく為には、後援会会員の皆様のご支援が今後は一層不可欠の事となります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成22年度後援会総会

7月17日(土)に、法文学部3号館203講義室において、法文学部後援会総会(第8回)が開催され、保護者・教職員合わせて約110名が出席しました。総会では、新たに会長および役員が選出され、平成21年度事業報告・決算、平成22年度事業計画・予算が承認されました。総会終了後の懇談会では、約80名の保護者の皆様と教職員が参加して就職・



総会後の懇談会模様

進路状況や学生生活などについて熱心に情報交換を行い、たいへん有意義な交流の機会となりました。

後援会支援事業

平成22年度法文学部就活セミナー

6月9日(水)に稲盛会館大ホールにおいて、後援会の学生就職環境支援事業として、日本経済新聞社との共催により『平成22年度法文学部就活セミナー』を開催し、200名超の学生が参加しました。

渋谷就職委員長の挨拶の後、日経メディアプロモーション(株)金清徹氏が「経済記事を就活に活かす方法」と題して講演を行いました。昨今、就職面接の際に必ず問われる、新聞購読に関する質問への対処方法について、経済記事を読み解く効果的なポイントの説明が行われました。学生たちは、各自資料として配付された新聞を手に、懸命に紙面の隅々まで目を通していました。

続いて、鹿児島銀行常務 上村 基宏氏（現在の取締役頭取）による「学生時代にすべき事」と題した講演が行われました。講演では、上村氏自身が担当してきた採用面接、特に、最終面接を振り返り、最近の学生の質について、思考レベルが甘い学生が増えたように感じると述べました。これから就職活動、企業研究を行う学生にとっては、大変厳しい言葉に映ったかもしれません。しかし、上村氏の言葉は、社会の厳しさや学生のうちに身につけるべき

心構えなど、これから社会へ旅立つ学生たちにとって、将来の糧となることと思われます。

法文学部就職委員会は、今後とも法文学部後援会と連携



携をとり、就職支援事業や講演等を実施し、学生の就職環境がより充実したものとなるよう努めて参ります。

就職状況

法文学部就職委員長（経済情報学科教授） 渋谷 正

平成20年9月のリーマン・ショック以後、就職活動（就活）で学生は大変苦戦しておりますが、平成21年度の就職率は、最終的に法文学部全体で約90パーセントに達しました。昨年度の特徴は公務員希望者が健闘したことで、例年の約2倍の合格者が出ました。

本年度の就職内定者については現在集計中ですが、昨年にも増して厳しいようです。一昨年度以降の就職環境は第2の就職氷河期あるいは採用厳選時代と言われ、企業は、徹底して質を求める状況になっております。法文学部就職委員会は、就活中の4年生に対しては、一人でも多くの学生に就職してもらえるように、法文学部独自の就職支援室や全学の就職支援センターを活用して就職支援に当たっております。

また、来年度就活を迎える3年生に対しては、各種の就職ガイダンス（模擬面接、就職体験報告会等）を開催して、学生の就職に対する自我を高めさせるように努めております。

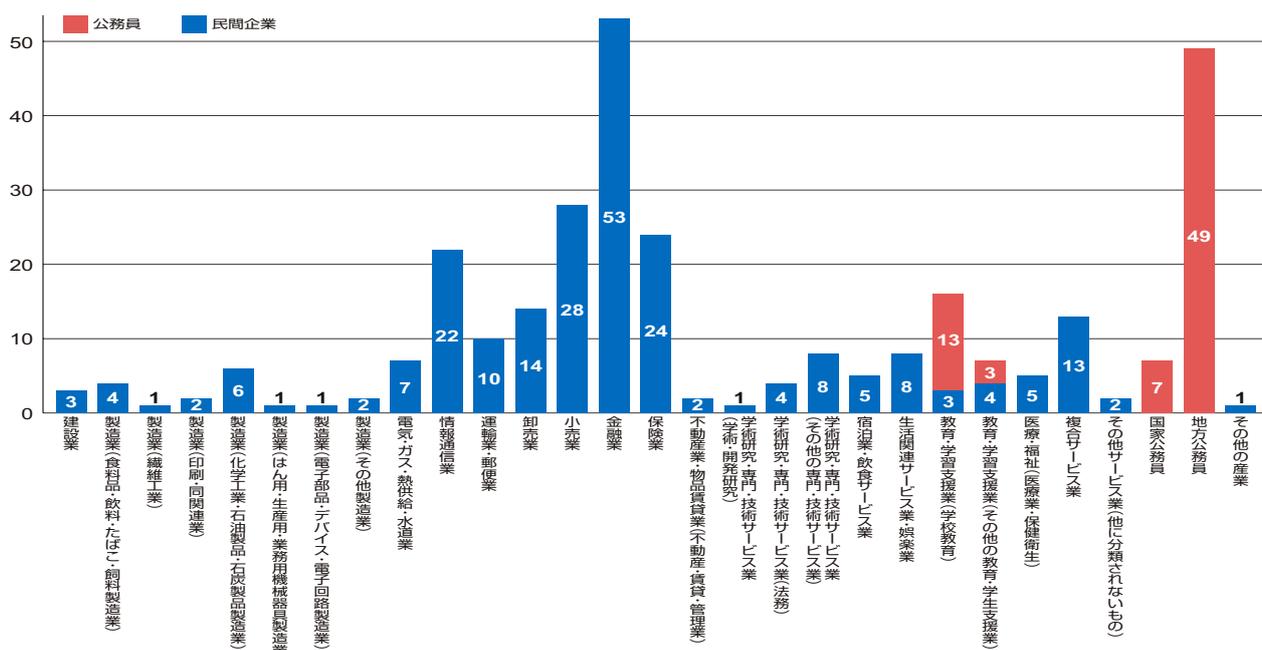
◎平成21年度卒業者の就職状況

学 科	法政策	経済情報	人 文	合 計
就職希望者数	82人	128人	123人	333人
就職者数	78人	115人	113人	306人
就職率	95.1%	89.8%	91.9%	91.9%

◎平成20年度卒業者の就職状況

学 科	法政策	経済情報	人 文	合 計
就職希望者数	79人	126人	127人	332人
就職者数	74人	120人	119人	313人
就職率	93.7%	95.2%	93.7%	94.3%

◎平成21年度産業種別就職状況（単位：人）



保護者アンケートや後援会総会での意見交換の場で、就職に関する情報提供を望む声が多く寄せられました。後援会では、今後とも「後援会だより」を通じて、就職状況をお知らせしていきたいと思ひます。

平成 21 年度決算・平成 22 年度予算

【平成 21 年度決算】

1. 収入の部

(単位:円) 平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

項 目	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	適 用
正 会 員 会 費	1,525,000	5,540,000	4,015,000	保護者会員
特 別 会 員 会 費	640,000	648,000	8,000	教職員会員
賛 助 会 員 会 費	0	50,000	50,000	
前 年 度 繰 越 額	15,241,694	15,241,694	0	
雑 収 入	140,000	192,830	52,830	懇談会個人負担分、預金利息等
合 計	17,546,694	21,672,524	4,125,830	

2. 支出の部 (一般項目)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	適 用
事 業 費	9,000,000	7,692,483	△1,307,517	就職支援室の運営経費、野外実習の旅費支援等
会 議 費	300,000	291,050	△8,950	理事会、総会の開催経費
事 務 運 営 費	1,200,000	1,169,331	△30,669	後援会だより印刷・送料、後援会事務員雇用経費等
予 備 費	41,033	26,081	△14,952	
次 年 度 繰 越 額	0	5,487,918	5,487,918	
小 計	10,541,033	14,666,863	4,125,830	

2. 支出の部 (特別項目)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	適 用
学 生 事 故 対 策 費	2,000,000	0	△2,000,000	
概 算 要 求 対 策 費	1,200,000	0	△1,200,000	
設 備 整 備 充 実 費	2,100,000	227,000	△1,873,000	野外ベンチ増設
国 際 交 流 費	870,920	76,650	△794,270	韓国釜山大学校との学生合同ゼミ支援等
学 生 支 援 費	500,000	0	△500,000	
そ の 他	334,741	94,608	△240,133	学部長と新入生との懇談会経費等
次 年 度 繰 越 額	0	6,607,403	6,607,403	
小 計	7,005,661	7,005,661	0	

項 目	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	適 用
合 計	17,546,694	21,672,524	4,125,830	

【平成 22 年度予算】

1. 収入の部

(単位:円) 平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

項 目	21年度予算額(A)	22年度予算額(B)	増△減額(B-A)	適 用
正 会 員 会 費	1,525,000	1,880,000	355,000	保護者会員
特 別 会 員 会 費	640,000	640,000	0	教職員会員
賛 助 会 員 会 費	0	0	0	
前 年 度 繰 越 額	15,241,694	12,095,321	△3,146,373	
雑 収 入	140,000	140,000	0	懇談会個人負担分、預金利息等
合 計	17,546,694	14,755,321	△2,791,373	

2. 支出の部 (一般項目)

項 目	21年度予算額(A)	22年度予算額(B)	増△減額(B-A)	適 用
事 業 費	9,000,000	8,600,000	△400,000	就職支援室運営経費、学生の野外実習旅費補助等
会 議 費	300,000	300,000	0	理事会、総会の開催経費
事 務 運 営 費	1,200,000	1,200,000	0	後援会だより印刷・送料、後援会事務員雇用経費等
予 備 費	41,033	36,650	△4,383	
小 計	10,541,033	10,136,650	△404,383	

2. 支出の部 (特別項目)

項 目	21年度予算額(A)	22年度予算額(B)	増△減額(B-A)	適 用
学 生 事 故 対 策 費	2,000,000	2,000,000	0	学生事故発生時への緊急対応経費
概 算 要 求 対 策 費	1,200,000	600,000	△600,000	学部・研究科の教育改革等支援経費
設 備 整 備 充 実 費	2,100,000	800,000	△1,300,000	法文学部1号館2階学生交流スペースの整備
国 際 交 流 費	870,920	500,000	△370,920	国際学術交流等支援経費
学 生 支 援 費	500,000	400,000	△100,000	他大学との学生交流支援経費
そ の 他	334,741	318,671	△16,070	学部長と新入生、学部長と卒業生との懇談会経費等
小 計	7,005,661	4,618,671	△2,386,990	

項 目	21年度予算額(A)	22年度予算額(B)	増△減額(B-A)	適 用
合 計	17,546,694	14,755,321	△2,791,373	

平成 22 年度後援会役員一覧

会 長：小原幸三

顧 問：石川英昭

副 会 長：西啓一郎、山之内雅代

常任理事：平井一臣、金丸 哲

理事〔保護者〕：

(法政策学科) 宇都節郎、山之内雅代、青木素子

(経済情報学科) 藤崎昌典、後藤浩一郎、
伊地知裕子

(人文学科) 西啓一郎、後藤美佳子、
森山裕二、西垂水誠

(人文社会科学研究科) 小原幸三

(司法政策研究科) 田上公洋

(臨床心理学研究科) 山口雅之

理事〔教 員〕：

(法政策学科) 木村 朗、森尾成之

(経済情報学科) 石塚孔信、金丸 哲

(人文学科) 横山春彦、新田栄治

(司法政策研究科) 米田健一

(臨床心理学研究科) 松木 繁

監査：通山裕樹、桑原 司

監事：湊 哲郎

問い合わせ先 鹿児島大学法文学部後援会事務局

〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

電話 099-285-7510、7517 FAX 099-285-7609

E-mail kouenkai@leh.kagoshima-u.ac.jp

○後援会ホームページ：http://www.kadai-houbun-kouenkai.jp/